



地域と大学を結ぶ広報誌

城西

Vol. 20
2017.2

 城西大学
 城西短期大学

新薬学棟、 水田三喜男記念館 竣工へ

ニュース

小野元之理事長代理「年頭のことば」

「今年1年は改革の年に」

ジョー・プライス氏に水田三喜男記念国際賞

目次

- 02 [ニュース] 「今年1年は改革の年に」
——小野元之理事長代理「年頭のことば」
就職セミナー
- 03 [お知らせ] 新薬学部棟、
水田三喜男記念館 竣工へ
——從二和彦副学長に聞く
- 04 [ニュース] 「人々の心を照らす」光 師走を彩る
——ライトフェスティバル2016
永年勤続表彰
- 05 [ニュース] ジョー・ブライス氏に水田三喜男記念国際賞
帰路賞授賞式
- 06 [ニュース] 奨励生など授与式
今泉氏に埼玉グローバル賞
金子元気選手 箱根・復路8区に出場
- 07 [シリーズ]先輩訪問
高田ターミナルホテル代表取締役社長
田中正人さん
- 08 [シリーズ]学生互版ワイド
学内外で活躍する城西人たち
- 10 [図書館だより]
- 11 [エリア紹介] 日高市 第9回巾着田菜の花まつり
毛呂山町 第11回歴史民俗資料館まつり
東武線沿線情報
「小江戸川越クーポン」を使って
川越の春を堪能しよう

題字：創立者 水田三喜男 先生

今号の表紙
城西大学の新しい「ランドマーク」となる新薬学部棟(21号館)が、間もなく完成します。創立50周年記念の大きな目玉として、創立者の名前を冠した水田三喜男記念館とともに3月28日、竣工式が執り行われます。新たな50年に踏み出した本学の「象徴」の一つとなることでしょう。



ニュース

2017.1.10 | 仕事始め

「今年1年は改革の年に」 ——小野元之理事長代理「年頭のことば」



2017年の仕事始めは1月10日に行われました。小野元之理事長代理=写真=は法人本部での仕事始めて「今年1年は改革の年にしていきたい」と強調しました。仕事始めには小野理事長代理をはじめ、本学の白幡晶学長や城西国際大学の柳澤伯夫学長、両大学の副学長や事務局長、法人本部の職員が出席しました。

小野理事長代理は「年頭のことば」の中で「箱根駅伝に走れなかったことは残念だったが、来年こそはという強い希望を持っています」と切り出し、「昨年はイギリスがEU離脱、トランプさんがアメリカの大統領に選ばれ、我が城西大学では長い

間ご指導いただいた(水田宗子)理事長が辞任をされた。三つとも皆さんにとっては意外なことだったのではないかと思います。私にとってはある程度、必然ではなかったかと思っています。そういう意味で新しい年は新しい目標に向かって皆さんと頑張っていく年にしたいと思っています」と述べました。

その上で、「学生の授業と先生方の教育・研究、この二つが最も大事なこと」と強調。「無駄なイベントや会議はやめ、授業を充実させ、学生の就職活動を一生懸命にサポートすることで、教育力の城西大学、城西国際大学、城西短期大学にしていきたい。今年は何年です。両大学、短大も含めて羽ばたいていけるような大学にするためご協力をお願いしたい」と述べました。

白幡学長は「4月以降の新たな城西の新学期に向けて、この3カ月間、すべての見直しをやる

という大きな作業をしなければいけない。教職員が必死になってやらないとクリアできないものと思っているので、ぜひとも皆さまのご協力をお願いしたい」と決意を語りました。また柳澤学長も「充足感を持って新年度を迎えるため、年度末の最後のホームストレッチでの力走が必要。新年度からの構想は、各大学、学部委ねられている。しっかりと計画を練ってほしい。先生方の一層の奮闘をお願いしたい」と述べました。

※水田宗子先生は2016年11月30日付を持って理事長を退任し、同12月1日付で、小野元之理事が理事長代理に選任されました。小野理事長代理は文部科学省事務次官や独立行政法人日本学術振興会理事長などを歴任。2011年4月、学校法人城西大学大学院センター所長に就任。2012年4月、同理事(城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科・統括研究科長兼務)でした。

就職セミナー

2017.20

約200社の企業幹部・採用担当者が参加

「2017城西大学就職セミナー」が1月20日、東京・池袋のホテルで開かれました。約200社の企業の幹部や採用担当者が参加、本学の教員と懇談、意見交換をしました。第1部では白幡晶学長の挨拶、大学側出席者の紹介、倉成正和就職部長の挨拶に続いて薬学部薬学科の金本郁男教授が「血糖値スパイクをなくせ」と題して講演しました。

第2部の懇親会では、小野元之理事長代理が「ゆとり世代は企業の立場からはご心配があるかもしれないが、ゆとり教育の考え方は自ら考え判断することにある。不確実な時代の中では、自分の頭で考え、自分の意志で行動する力が要望されてきていると思う」と述べたうえで、「辛抱強く、社会に対応でき、コミュニケーション能力を持ち、ある意味根性を持って埼玉、あるいは東京、日本、世界に羽ばたいていける学生を育てていきたいと思っています。品質保証ができた学生を送り出すために全力を傾ける所存です。これからは城西大学と皆さま方のパイプをさらに太いパイプにしていきたい」と語りました。



その後、草野素雄短期大学学長の乾杯の音頭で懇談に移りました=写真。

お知らせ

竣工式 2017.3.28

新薬学部棟、 水田三喜男記念館 竣工へ ——從二和彦副学長に聞く



創立50周年記念事業の大きな目玉である新薬学部棟(21号館)と水田三喜男記念館の竣工式が2017年3月28日に執り行われます。新薬学部棟=写真①=は地下1階、地上9階建てで総床面積は約1万2000平方メートル。アイントゥーセンターと6号館にあるほとんどの機能を担い、教室や研究室、教職員のオフィスなどを備えます。大学のメインアプローチから大きく見えてキャンパスの目印、ゲートウェイとして機能が際立ってきました。東武越生線の車内からも「城西大学」のプレートが掲げられた新棟が見通せます。また、9月からは水田記念図書館の東隣に教室や実験室を備えた地上7階建て(総床面積約8000平方メートル)の22号館の建設が始まります。新薬学部棟の完成を前に、從二和彦副学長(薬学部長)=写真②=にその意義や期待するものなどについて聞きました。

——いよいよ完成を迎えます。
「大学当局ならびに多くの関係各位のご尽力で、薬学部に本当に素敵なプレゼントをいただきました。6年制薬学科がスタートして、勉強・教育環境充実の面で願っていました大きな夢の一つ、叶います。学生さんとご父母、教職員一同、感謝の念とともにわくわく感でいっぱいです」
——新薬学部棟の特長は?

「美しさに加えて、研究室、講義室、学生さんのアメニティーゾーン、RI関連施設、事務機能を含む棟になります。研究室フロアでは、研究室間の壁を設けず交流を促し、また学生・教員が顔を合わせる機会が多くなる工夫をしています。また、薬学部事務機能が集約し、学生さんと職員の距離も一段と近くなるでしょう」

——新薬学部棟に期待するものは?
「施設・機器等の共有、学生・教職員の有意義な交流がよりスムーズになるようなレイアウトになっており、より多くの人がコミュニケーションを取り合い、学生・教職員が一体となって高い教育効果・研究成果を上げることが期待しています」

——秋には22号館の工事も始まります。
「22号館は、文系・理系の学部、大学院で利用できる構想とお聞きしています。教室としての利用に加えて、同じ空間を多分野の学生、教員がシェアできる環境は大変貴重ですので、大いに交流を深めて、城西大学が一丸となるきっかけになることを楽しみにしています」

一方、水田三喜男記念館=写真③=は2階建てで延べ床面積は約1800平方メートル。城西の丘の北側の斜面に沿ってつながる森の延長のような空間デザインになっています。昨年7月に総合体育館に仮オープンした展示室を移して整備するほか、ホールやワークショップなど多様な活動を行うための多目的ラウンジを備え、国際教育や地域連携の拠点となります。



ニュース ライトフェスティバル 2016.12.16

「人々の心を照らす」光 師走を彩る

——ライトフェスティバル2016

師走のキャンパスを彩る「ライトフェスティバル2016」が昨年12月16日に開かれました。今回で7回目。水田記念図書館前の特設ステージでは多彩なパフォーマンスが展開され、メインストリートでは短大有志による「コーヒー、ラスク」をはじめ、サッカー部「焼き鳥」、硬式野球部「けんちん汁」、女子ソフトボール部「フランクフルト」、V



4留学生「ザワークラウトスープ、トッポッキ」などの模擬店=写真⑤=が出て、学生や教職員、多くの地域の方々が冬の夕べのひとつときを楽しみました。

司会進行を務めたのは

女性リーダー育成奨励生の西優美香さん(薬学科5年)と坪井彩香さん(現代政策学部4年)=前半、島田芽衣さん(薬学科5年)と岸宏美さん(同)=後半=の4人。「本学の元気の良さを、このライトフェスティバルでも皆様にお見せしたい」と述べ、正面からメインストリートにかけて飾られたキャンドルを「学生の願い、希望の光となり、人々の心を照らす」とのテーマで、薬学部生が心をこめてつくったと紹介しました。杉林堅次常務理事の開会挨拶に続き、小野元之理事長代理、白幡晶学長、小川拓海・中央委員会委員長(現代政策学部2年)、リオ五輪陸上競技日本代表の佐藤拳太郎さん(経



小野元之理事長代理、白幡晶学長など5人がツリーに点灯

営学部4年)、スロヴァキアからの留学生のクルチコヴァー・ミロ斯拉ヴァさん(経営学部)の5人によってツリー点灯が行われました。

厳しい冷え込みを吹きとばすような、全学応援団チアリーダー部のクリスマスソングに乗ったパワフルなダンスを皮切りに、「あんず組」によるダンス=写真⑥⑦=のほか、教職員や学生、留学生によるグループ「JUFES2016」による歌と演奏、V4(ハンガリー、ポーランド、スロヴァキア、チェコ)やミャンマー、マレーシアからの留学生による歌や民族舞踊=写真⑧⑨=、ダンスも披露され、大きな拍手が送られました。



ニュース

永年勤続表彰

40年勤続7人、 30年勤続4人を表彰

2016年度の永年勤続表彰が昨年12月16日、清光会館で行われました=写真=。40年勤続が7人、30年勤続が4人。小野元之理事長代理は挨拶で「城西大学の発展にご努力いただき、素晴らしい教育の実践、研究の実践に励んでいただいたことに心から御礼を申し上げます。これを一つのステップとしてまだまだお力添えをいただきたい」と述べました。

表彰者を代表して勤続40年の杉林堅次常務理事(薬学部教授)は「楽しい日々を過ごさせていただいたと思っている。私どもは

2016.12.16

まだまだ若いと思っているので、今後とも城西大学の発展のために心一つにして頑張っていきたい」と感謝の言葉を述べました。杉林常務理事以外の方は次の通り。

【40年】木村哲・薬学部助教▽田中勝・学生課長▽神前敦・教務課長▽小沼寿美子・理学事務長補佐▽吉野みどり・経済学部事務室▽関根光夫・学生課

【30年】従二和彦・副学長(薬学部長)▽小堀隆司・語学センター教授▽坂本武史・薬学部薬学科教授▽中山光治・薬学部薬学科助教



ニュース

水田三喜男記念国際賞授賞式

2017.2.7

江戸時代の日本絵画の再評価に大きな貢献

財団「心遠館」館長ジョー・プライス氏に授与

創立50周年を記念して創設した「水田三喜男記念国際賞」の授賞式が2017年2月7日、東京紀尾井町キャンパス3号棟で開かれ、伊藤若冲ら江戸時代の日本絵画の再評価に大きな貢献を果たした財団「心遠館」館長、ジョー・プライス氏に賞状や賞金などが授与されました。

同賞は、日本の復興・発展に尽くした創立者の事跡に思いを致すとともに、その精神を体して著作あるいは実践行動において日本経済・社会・文化の活性化・発展に顕著な貢献をしてきた方を顕彰することを目的に創設しました。

ジョー・プライス氏は1929年、米オクラホマ州生まれ。87歳。若いころから日本絵画の収集を始め、個人では最大の若冲コレクションとなり世界有数の江戸絵画コレクションとなりました。長い間、研究者たちに見遇ごされてきた江戸時代の個性豊かな画家たちを発掘しただけでなく、日本における様々な展覧会にコレクションから作品を積極的に貸し出すなど、近年の「若冲ブーム」のきっかけをつくりました。

贈呈式では小野元之理事長代理の挨拶に続き、選考委員を代表して水田宗子理事が授与事由を説明。「今回の授賞は水田三喜男の気持ちと志を反映したもので、創立者も喜んでいるのではないかと思います」と述べました。プライス氏は、プレスとの会見で受賞について「ナイス、ハッピー」と笑顔で応え、若冲絵画との出会いや収集に触れ「若冲とともに育ってきたといってもいい」と語りました。



プライス夫妻を囲んで、小野理事長代理や白幡学長、選考委員らによる記念撮影

帰路賞授賞式

2017.1.27

肖博倫さん「雪があさってに降るといふことだ」が奨励賞

佳作に
ネーメト・ヴィヴィエンさん
「幽霊」

日本で学ぶ留学生を対象にした詩歌賞「帰路賞」の授賞式が1月27日、東京紀尾井町キャンパス3号棟で開かれました。創立50周年を記念して一昨年12月、法人本部に国際現代詩センターが設立され、帰路賞は同センターの取り組みの一環として創設されました。授賞式では水田宗子所長の挨拶に続き、選考委員を務めた詩人の高橋陸郎氏、平田俊子氏、野村喜和夫氏が講評。高橋氏は「本当に素晴らしい作品がたくさんあり、読ませていただいて刺激を受けました」と述べました。

奨励賞5人、佳作7人に賞状などが授与され、本学からは現代政策学部4年の肖博倫さん(中国)の「雪があさってに降るといふこ

とだ」が奨励賞に、経営学部の交換留学生・ネーメト・ヴィヴィエンさん(ハンガリー)の「幽霊」が佳作に選ばれました。賞状などの授与の後、全員による朗読がありました。



奨励賞の肖博倫さん 佳作のネーメト・ヴィヴィエンさん

ニュース

奨励生など授与式 2016.12.16

「元気に明るく、前を見て」
女性リーダー育成奨励生など授与式



2016年度の女性リーダー育成奨励生(水田宗子奨学金)などの授与式が昨年12月16日、17号館1階プレゼンテーションルームで開かれました。授与されたのは計54人=写真。小野元之理事長代理は挨拶で「若い人たちに元気がないと言われるが、皆さんを見るとそんなことはないと思う。選ばれたことを誇りに勉学やスポーツに励んでほしい。人生の中で最高に輝く学生時代を元気に明るく、前を見て頑張っていたらいい」と学生たちを激励。白幡晶学長も「皆さんが活躍すると、世の中に大学の賞の名前が出る価値あるものになる。今までと違うチャレンジをしてこれからの学生生活を充実したものにしてほしい」と語りかけました。

これに対し奨励生を代表して田村麻衣さん(薬学研究科)は「城西大学の新たな50年の幕開けとなる記念の年に選出されたことをうれしく思います。このチャンスを生かし、学内外のセミナーや研究会に参加してさらに教養を深め、多くの人々と交流を持ち、私が目指す立派な女性リーダーになれるよう日々継続して努力していきたい」と感謝の言葉を述べました。

各制度の人数は次の通り。
【女性リーダー育成奨励生(水田宗子奨学金)】=5人【水田奨励生第一種特待生、1年生】=10人【水田奨励生第二種特待生、2年生以上】=30人【水田三喜男記念奨励生】=9人

埼玉グローバル賞 2017.2.8

今泉氏に埼玉グローバル賞
私費を投じてミャンマーからの留学生を支援

本学の「ミャンマー交流・人材育成奨励制度」のもとになった「今泉記念ビルマ奨学会」(鶴ヶ島市)と今泉清詞会長(93)が今年度の「埼玉グローバル賞」(「未来への投資」分野)に選ばれ、2月8日に埼玉県知事公館で表彰式が行われました。

今泉会長は第二次世界大戦中、ビルマ(現ミャンマー)で従軍。生きて帰れたのは食べものなどを分け与えて助けてくれた当地の人たちのおかげとして、私費を投じてミャンマーからの留学生に対する支援を続けています。一人当たり年額数十万円の奨学金を19年間で178人に支給。支援を受けた留学生のうち26人が博士号を取得し、母国や世界各地で活躍。現在も同国で図書館建設、寺子屋での英語教育支援などの活動を続けています。

本学は昨年7月、同会からの多額の寄付を受けて制度を立ち上げ、新年度からミャンマーからの留学生に奨学金を授与することにしています。今泉会長は「受けたご恩の万分の一のささやかなご恩返し活動が大きく評価され、大変恐縮しております。今後も日本とミャンマーとの友好親善に一層努力して、この荣誉に報いたいと思います」と語っています。



表彰式で上田清司知事(右から3人目)と今泉会長(左から3人目)

関東学生連合チーム 2017.1.3

金子元気選手 箱根・復路8区に出場

今年正月の箱根駅伝への出場を逸した男子駅伝部。関東学生連合チームに選抜された金子元気選手(経営学部2年)が1月3日、復路8区に出場しました。金子選手は平塚中継所から戸塚中継所までの21.4kmを1時間8分6秒で走りきり、襷をつなぎました。沿道では教職員約20人が応援に駆け付け、大きな声援を送りました。

「今まで箱根を走るためにやってきた。憧れだった箱根を走っている瞬間を楽しもうと思いつながら走った」と金子選手。これで新チームの箱根経験者は5人となりました。来シーズンに向けて金子選手は「関東インカレ入賞やトラックでの自己ベスト更新など結果を残せるようにしたい。そしてチーム内で数少ない箱根経験者となったので、チームに貢献できるように頑張りたい」と抱負を語っています。 【城西大学スポーツ記者・高桑霞美(経営学部3年)】



声援を受けて力走する金子元気選手

シリーズ

先輩訪問

各界で活躍する卒業生を紹介する「先輩訪問」。今回は高田ターミナルホテル代表取締役社長の田中正人さん(60)を新潟県上越市のホテルに訪ねました。



「生かされて、生きる」
誇りを持って一生懸命に

高田ターミナルホテル代表取締役社長 田中正人さん (1979年 経済学部卒)

——思い出深い学生時代の出来事は何ですか。

「高校時代にバスケットボールをしていた関係で、体育の授業のバスケットボールで仲良くなったクラスメイトと2年生の時に同好会をつくりました。栃木や青森など地方からきたクラスメイトと気が合い、卒業後にうちのホテルに遊びにくる友人ができましたね。私は清水公一先生のゼミ(3~4年時、広告論)の1期生で、熱心に指導していただきました。清水先生のゼミに一度、学生さん相手に講演みたいなものをさせていただいたこともあります。昨年まで清水先生のゼミの夏合宿はうちのホテルだったんです。師と友に恵まれた学生時代でしたね」

——ご実家は老舗旅館で現在はホテル。この間、大きな転機は。

「卒業の年に大学院ができて誘われましたが、大黒屋という旅館を継ぐことが決まっていたので、新潟市のホテルに「丁稚奉公」(2年間)に行きました。最初の転機は専務だった30歳の時。年商1億円の当時、6億円借入してホテル(7階建て)に建て替えました。親父は「借金するのもお前だし、返すのもお前だから、やれると思ったらやりなさい」と言ってくれました。お客様のトレンドが駅前旅館からビジネスホテルに替わる時期に当たっていましたが、決断できたのはやはり若かったからでしょうね。その後、40歳の時に宿泊特化型ホテルを手掛ける会社「ベスト」を創設。甲府や大垣、石垣島など全国で12店舗を展開していましたが、昨年7月に縁があって手放しました。このホテルは娘に任せることにしていますが、私も還暦を迎えてそろそろ手仕舞いをおこななければならない時期にきています。「ベスト」は外部の出資者の方々に迷惑をかけない評価をしていただきました」

——全日本シティホテル連盟甲信越支部長などの役職のほか、高田駅前通り雁木の会会長や高田おもてなし会代表世話人など地元の振興にも力を入れておられる。

「高田は3年前に開府400年を迎えました。戦国時代に上杉謙信が築いた春日山城、江戸時代に徳川家康の六男・松平忠輝が築いた高田城という城の歴史と、今なお城下町の風情を残す町家、総延長16kmという日本一の雁木の街並みがあ

ります。(雪よけ屋根の役割を果たす)雁木が素晴らしいのは、民地を公共のために提供していることなんです。豪雪地の知恵として先人から受け継いできた、隣人や地域のつながりの象徴のようなものです。また、4月には高田城で日本三大夜桜と称される「高田城100万人観桜会」があり、7月から8月にかけては「東洋一の蓮祭り」が開かれます。一昨年には北陸新幹線が開通し、首都圏からもぐっと近くなりました。ぜひ、いらしてください」

——好きな言葉を教えてください。

「『生かされて、生きる』という言葉が好きで、よく使っています。何か仏教関係の本にあった言葉だと思いますが、人間ひとりでは生きていけない。それぞれに立場が与えられて、その中で一生懸命やるのが大事なんだろうと思います」

——後輩へのメッセージをいただけますか。

「好きな言葉と関連しますが、自分の仕事に誇りを持って与えられたことを一生懸命にやるということでしょうか。よく言われることですが、お天道様や神様はやっぱり見ていて、ちゃんと平等にチャンスを与えてくれると思います。努力をすると、与えられるチャンスのレベルが上がると思うんですよね。私は還暦で3回目の成人式を迎えました。60歳でそろそろ手仕舞いを考えて、社会や地域にお手伝いできることがあれば、残りの10年、20年はそうしたいと思っています」

■高田ターミナルホテル

明治時代中期に創業した駅前旅館「大黒屋」が前身。えちごトキめき鉄道(旧JR信越線)高田駅から徒歩1分。オランダ・アムステルダム駅をモデルにした雁木がお洒落。従業員34人。客室59室。和洋の宴会場やレストランを備える。
〒943-0831 新潟県上越市仲町4-5-2。TEL:025-523-5428。



シリーズ

学生瓦版

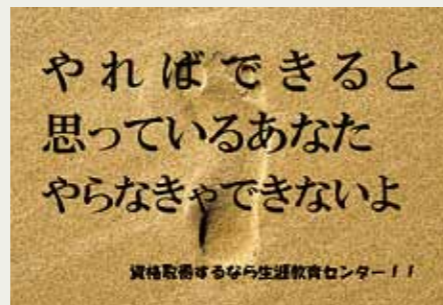
城西大学広報委員会のメンバーが学内外で活躍する団体、個人を紹介する学生瓦版。今回もワイド版でお送りします。

就職活動に向け資格を取得したい人、来たれ 生涯教育センター

資格習得を目指す場を設けている生涯教育センター。時代の変化や授業で資格を取る人が増えて、受講者は減少しているのが実情だ。その改善策として、時代に合うような講座を入れているほか、年間に2、3個の講座を入れ替えているという。また、受講者が多い講座については、定員を増やす取り組みを行っている。

資格の取得は大変なことだ。自分で勉強するより、スケジュールに沿って行う講座に参加するのも一つの方法だ。授業でも資格は取れるが、講座を受ければ、合格率はきっと上がるにちがいない。

資格を取るということは、授業以外でこんなことしてきたという自信と実績にもなる。やる気はあるが、行動に移せない人も



ぜひ講座の説明会にご参加を

おそらくいるだろう。そんな人はぜひ、春に講座の説明会に参加してみると良い。自分に自信をつけたい人、就職活動で有利な資格を取得したい人は、初めの一步を踏み出すために生涯教育センターのドアをたたくべきではないか。

取材: 桧山遥 (現代政策学部2年)

先輩に憧れて入部 お笑いに闘志を燃やす 落語研究会 部長 手塚あずみさん (薬学部2年)

1~4年生合わせて27人で活動している。毎月曜日の放課後に集まり、ライブの計画を立てるほか、バラエティー番組を参考にして、笑いについて研究している。大きなイベントは三つあり、一つ目は高麗祭だ。毎年教室を借りてお笑いライブをしている。二つ目は「十八番の会」というライブで、一昨年は学外で行

われたが、去年は学内で行った。三つ目は「城大落語会」という北坂戸のオルモで行われるライブで、これは4年生がメインの卒業ライブだ。

取材を受けてもらった鈴木則幸さん(経済学部3年)に入部した動機を聞いたところ、「先輩がとても面白かったので、その方に憧れて入部した」と言う。芸人を目指して頑張っている先輩たちや、活躍し始めている同年代の人を間近で見ているので、鈴木さんもひそかに闘志を燃やしているようだ。「今後はもっ

と学外でライブを行ったり、お笑いの大会に参加したりしたい」と言う。鈴木さんのように人を笑顔にすることに興味がある人は、ぜひ落語研究会へ。

取材: 渡邊春花 (経営学部2年)



最後列左から6番目が部長の手塚あずみさん

初心者でも十分に活躍できるチャンスあり 剣道部 主将 石塚光樹さん (経営学部3年)

剣道という競技を初めて耳にした人も多いだろう。剣道とは50年前に始まったまだ新しい武道で、大学創立当初からある部活だ。

部員は男子19人、女子8人の計27人で、上級生は週5回、下級生は週4回のペースで活動している。部内は明るく親しみやすい雰囲気に包まれている。

個人種目と団体種目があり、決められた型の美しさを競う「法型」、一対一または5人1組の対戦で競技する「実戦」、1人の主役と5人の脇役を設定して行う「展開」がある。中でも展開は剣道固有のもので、主役は脇役を25~30秒以内に全員倒すというもので、演舞中にはバク転やバク宙が繰り広げられ、見るものを圧倒する。部員のほとんどが初心者。他大学でも大学から始める人がほとんどなので、大会などで活躍できるチャンスは十分にある。前部長の畠山知夏さんは(経済学部4年)は「大学で何かに打ち込みたい、そんな人はぜひ剣道部に来たれ」と呼びかけている。

取材中、「礼に始まり礼に終わる」という言葉が印象に残っ

た。礼儀は人を作るという。学生生活を楽しまつつ、剣道を通じて人間として成長してみたいだろうか。

取材: 山路泰地 (経営学部2年)



左から2番目が主将の石塚光樹さん

今年の目標は日本一 力強く突き進む 弓道部 主将 石塚風香さん (薬学部3年)

部員一人ひとりの意識が高く、高い目標を持ちながら非常にいい雰囲気活動している。女子3人、男子9人の計12人が

所属、活動は週5回。大会は年に4回ほどあり、男子は1部リーグ、女子は2部リーグと、それぞれ上位リーグに入っている。

弓道は、的に当たった本数で勝敗が決まる。1人2射ずつという少ない本数しか射ることができない。そのような状況でいかに落ち着いて集中することができるのかが、勝負を分ける。

そのために練習で集中力を高めているのだそうだ。集中力のほかにも、精神力も身につけることができる。

体のどの部分を使うかによって飛ぶ方向に大きな差が出るため、矢が的に当たった時には格別のうれしさがあるという。また、どうすればうまくなるかを考えるのも魅力だという。

主将の石塚風香さん(薬学部3年)は「今年の目標は、日本一になること」と力強く答えてくれた。目標に向けて突き進む弓道部から目が離せない。

取材: 落合崇人 (経営学部2年)



右端が主将の石塚風香さん

図書館だより

城山中学校1年生が図書館業務を体験

1月24～26日の3日間、坂戸市立城山中学校1年生3人が図書館において職場体験学習を行いました。大学図書館についての説明

を受けた後、図書への貸出・返却、カウンターでの貸出・返却、返却図書の配架などを体験しました＝写真。最終日には、自分のお薦め図書のポップを作成し、図書館カウンター前に展示しました。



「第3回読書会ざくざく」を開催

昨年12月7日、図書館グループ学習室6Bにおいて「読書会ざくざく」を開催し、28人が参加しました＝写真。今回は薬学部女子学生ライフ・キャリア支援サークル「マーブル」の学生が司会を務め、参加者

の中から5人が今回のテーマである「女性の活躍推進」に関する図書を紹介しました。参加者は男性・女性それぞれの目線から意見を述べ合い、女性が活躍する社会について議論を深めることができました。



「城西大学読書感想文コンテスト2016」の表彰式を開催

12月16日、図書館3階グループ学習室において「城西大学読書感想文コンテスト2016」の表彰式を開催し、グランプリ、準グランプリ、優秀賞の各受賞者へ橋本フミ恵館長より賞状と副賞が贈られました＝写真。今年度の応募者数は、部門1(中学生・高校生の部)は142人、部門2(大学生・短大生の部)は222人でした。受賞者(敬称略)【グランプリ】「女性の活躍のために」熊谷

紗希(城西大学薬学部薬科学科1年)＝書名「だから女はダメなんだ」と言われない女性リーダーの心得【準グランプリ】「生まれて、やがて死ぬ」岡田真阿(西武台新座中学校2年)＝書名「動物の死はかなしい?」【優秀賞】(部門1)高橋泰地(川口市立領家中学校3年)、志村侑奏(西武台新座中学校2年)、三森

甲誠(城西川越中学校3年)、木野目美咲(西武台新座中学校3年)(部門2)山本真海(城西大学薬学部薬科学科1年)、高橋未瑚(城西大学現代政策学部1年)、石井宥名(城西大学現代政策学部1年)、本田晏彬(城西大学薬学部薬科学科3年)



「図書館と県民のつどい埼玉2016」に貴重図書を出展

12月18日、北本市文化センターで開催された「図書館と県民のつどい埼玉2016」において「明治時代のくすり広告・紙看板」をテーマに、本学の漢方古書コレクションから貴重な資料を展示しました。当日は314

人の方が見学され、富山の薬売りの土産だった色鮮やかな売薬版画や現在のチラシのもととなった引札などをご覧いただき、くすり広告の面白さとともに時代背景にも関心を深めていただきました＝写真。

「第8回地域相互協力図書館合同主催公開講座」を開催

1月20日、図書館9階において近隣の相互協力図書館(坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、毛呂山町、越生町)との合同主催公開講座「世界の中の日本、日本の中の世界-身近なグローカリズムを考える-」を開催し、近隣地域の方、学生、教員な

ど85人が聴講しました。講演では講師の本学経済学部客員教授・勝浦信幸先生から移民、難民の困難な現状と日本の人口推移予測などを基に、外国人とともに生きる地域創生のあり方について、身近な例を交えてお話いただきました＝写真。



エリア紹介

日高市

第9回巾着田菜の花まつり

四季折々の花が楽しめる巾着田。日高市内を流れる清流、高麗川の蛇行により長い年月をかけてつくられ、その形がきんちゃくに似た水田だったことから、巾着田と呼ばれるようになりました。例年3月下旬から4月上旬は、堤沿いに咲く約100本の桜と約2割の菜の花を楽しむことができ、ぼかぼか陽気の中、お弁当を広げてお花見を楽しむ人たちにぎわいます。

この時期に合わせ、4月8日(土)、9日(日)に「巾着田菜の花まつり」を開催します。子どもと大人と一緒に参加し、遊んで、学んで、楽しめるイベントとなっています。地元グルメの出店やステージイベント、菜の花畑の中を進むミニSLの運行＝写真＝など、いろいろなアトラクションを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。また、巾着田のすぐ近くにある国登録有形文化財の「高麗郷古民家」では、4月上旬から鯉のぼりがお目見えし、五月人形が飾られます。自然豊かな高麗の郷を、ぜひお楽しみください。



毛呂山町

第11回歴史民俗資料館まつり

「歴史民俗資料館まつり」を4月9日(日)に開催します。民俗芸能公演やちよつと昔の遊び、古代人の食文化体験やもちつき＝写真、毎年好評の鎧武者と歩く鎌倉街道散策など、毛呂山町の歴史にふれる催しです。

また、2月26日(日)から4月15日(土)まで、同館特別展示室にて、「資料館ボランティア活動報告展」を開催しています。資料館サークルおよびサポーターの一年の活動を振り返るとともに、資料館とボランティアによる協働の取り組みについてご紹介します。地域の伝統文化や中世の面影を残す鎌倉街道上道が残る毛呂山町ならではの、歴史と文化のイベントをお楽しみください。



会場は毛呂山町歴史民俗資料館(埼玉県入間郡毛呂山町大類535)、開催時間は午前9時30分から午後3時まで。

※無料駐車場あり(大類館＝大類548)。お問い合わせは、同資料館(☎049-295-8282)へ。

東武線沿線情報

「小江戸川越クーポン」を使って川越の春を堪能しよう

川越では3月下旬～5月上旬にかけて、「第28回小江戸川越春まつり」が開催されます。春の風物詩として、オープニングイベントを皮切りに長期にわたってさまざまなイベントが行われます。また春といえばお花見の時期です。川越には新河岸川や喜多院など多くのスポットがあり、新河岸川沿いの桜並木や川を渡る小船は撮影スポットとして一見の価値があります。お花見のお供に「COEDOビール」はいかがでしょう。

川越にお出かけの際は、ぜひ「小江戸川越クーポン」のご利用をおすすめします。川越または川越市までの往復券と東武バス1日乗車券がセットになったお得な企画乗車券となります。さらに「小江戸川越クーポン」を協賛店に提示していただくとお得な特典がございます。

小江戸川越クーポンのお求めは各駅窓口へどうぞ

(ただし、川越、川越市、寄居、越生を除く)詳しくは、東武鉄道ホームページをご覧ください。

東武東上線「池袋」から「川越」へ約30分！
ライナーで渋谷から最速46分！
東武東上線「池袋」から「川越」へ約30分！
ライナーで渋谷から最速46分！
東武東上線「池袋」から「川越」へ約30分！
ライナーで渋谷から最速46分！

編集/学校法人城西大学 広報センター
発行/城西大学 総務部総務課
〒350-0295
埼玉県坂戸市けやき台1-1
Tel.049-271-7712
http://www.josai.ac.jp